

# MR I 検査注意事項

MRI検査室内は強い磁場となっており、故障や検査の妨げになる物があります。  
安全に検査を受けていただくため、この用紙を必ずお読みください。

MR Iとは、磁気共鳴画像法の意味で、強力な磁気を利用し体の断面像を撮影する方法です。  
MR Iは放射線被曝はありません。縦横斜めの任意方向の断面を画像にすることができます。  
当院の装置の特徴である、従来よりかなり広くなった楕円形のトンネルに入って検査をします。  
検査衣に着替えていただきますので、検査当日は着替えやすい服装で来院してください。  
検査中は、ガンガンガンという大きな音と振動が発生します。

心臓ペースメーカー装着者は、誤作動、停止する恐れがありますので入室禁止です。

コンタクトレンズ着用の方は、コンタクトレンズを外せる用意をお願いします。  
脳動脈瘤のクリップの一部や各種ステントの一部、可動性義眼は入室できない物があります。  
人工骨頭、金属プレートなどの金属が埋め込まれている方は検査ができない部位があります。  
検査にあたり、腹部検査の方以外は全く食事や服薬の制限はありません。  
トイレは検査前に必ず済ませておいてください。

MR I室内は、磁力により金属が急激に引き込まれ、空中を飛ぶ可能性があり危険です。  
患者さんに当たって怪我をしたり、強い磁場の為に機器を損傷する恐れがあります。  
安全に検査を行なう為に下記の物を絶対に検査室内に持ち込まないでください。  
万が一、下記の物を持ち込み、使用不能となりましても一切の責任を負いかねます。

- 金属類 … 時計、メガネ、ベルト、財布、鍵、ネックレス、ヘアピン、安全ピン、ピアスなど
- 磁気カード … 駐車券、キャッシュカード、プリペイドカード、クレジットカード、通帳など
- その他 … 義歯（取り外しができる入れ歯）、補聴器、カイロ（使い捨てカイロも含む）など

故障したり、記憶された情報が消えて使用できなくなることがあります。  
装置の中に吸い込まれ取り外せなくなったり、怪我の原因になることがあります。

- 刺青、化粧品（マスカラ、アイシャドーなど）

発熱して、火傷をしたり、画像が歪むことがあります。

- 電子機器（携帯電話など）

故障したり、記憶された情報が消えて使用できなくなる事があります。

検査が始まりましたら、身体や頭を動かさずにリラックスしてください。  
尚、何か不明な点がございましたら、担当医または診療放射線技師にお申し出ください。  
受付後、検査の準備の為、多少の待ち時間があります。予めご了承ください。